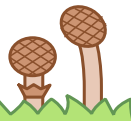




学校だより



平成 30 年度

< 11 月号 >

平成 30 年 11 月 6 日

「夢いっぱい 花いっぱい 元気いっぱい」

文部科学省委託事業「学校安全総合支援事業」

千葉県教育委員会指定

「平成 30 年度 命の大切さを考える防災教育公開事業」に取り組んで

校長 塚田 ゆかり

先日の「つくし祭」には、多くの皆様の御来場と御協力を賜り、ありがとうございました。皆様の応援があって学校全体が一つになり、児童生徒は普段以上の力を発揮できたことと思います。確実に成長している子供たちです、今後もより一層の御支援のほど、よろしくお願いいたします。

さて、今年度の最大の特徴的な取組である「命の大切さを考える防災教育公開事業」の授業公開・事業報告・講演等が、明日 11 月 7 日（水）に実施されます。この事業に取り組む中で、防災教育の充実を図り、授業公開やミニ集会等で地域・関係機関と連携しながら、防災教育拠点地域の中核としての本校の役割を探っていきたいと考えています。

事業概要としては、①引渡し訓練の実施 ②防災教育の授業公開（11 月 7 日）③避難所開設訓練、防災マニュアルや体制づくりの整備 等です。すでに、昨年度から、松戸市役所の協力を得て HUG（避難所運営ゲーム）に取り組む中で、防災及び避難所運営マニュアルの見直しを行いました。

公開授業は、高等部 3 年生を対象に「災害から身を守る知識や行動を身につけよう」のテーマで行います。災害から身を守る知識や行動について知り、生徒たちが HUG を行う中で、自分たちができる役割について考えます。活動を通して、命の大切さを考える機会になってほしいと願っています。

今後、12 月には、外部参加者とともにミニ集会での HUG 研修、また近隣施設との合同防災訓練（AED の使用、消火訓練、煙道通過訓練）も計画しています。

小学部では、3 年生が校外学習で「西部防災センター」に出かけ、それを基に、つくし祭において、防災クイズを執り行ったり、図工で作成した消火器（模型）を手に、自らが火事を消す劇を演じたりしました。

毎年、定期的に行っている避難訓練も含めて、学校全体で防災に関する意識をさらに高め、年齢や発達段階に応じて「命の大切さ」について学ぶことにつなげていきたいと思っています。御家庭でも、御近所と一緒に自助・共助の取組を進めていただきながら、少々の困難があっても乗り越えていけるたくましい子供たちを、共に育てていきましょう。



小学部

みなさん 39 つくし祭！

小学部舞台発表では、絵本の読み聞かせ、体育、音楽、校外学習など、日々の学習内容をアレンジした発表を御覧いただきました。たくさんの温かい声援に励まされ、毎日積み重ねてきた練習の成果を発揮することができました。発表後、大きな拍手に包まれながら笑顔を見せる子供たちの表情には達成感が満ちあふれ、胸が熱くなりました。

中学部、高等部の作業製品販売活動やオープニング、フィナーレの進行や発表の様子からは、お子さんの将来の姿を想像されたのではないのでしょうか。

大きな行事を一つ終わると、子供たちの姿がたくましく見えるとともに、学級学年のまとまりがより強固なものとなったことを毎回実感します。今後も学習活動の充実を図り、一人一人が一層輝く場面をたくさんつくっていきたいと思います。〔小学部主事〕渡邊 久美



中学部

つくし祭を振り返って…

先月27日に行われたつくし祭。中学部では各作業班の販売コーナーと、「コスモボウリング」のゲームコーナーの二本立てで活動しました。この日の販売会に向けて、各班とも、夏休み明けから目標を立てて新製品を開発したり、ゲームコーナーの準備を進めたりしながら作業に取り組んできました。

作業学習の時間が長くなるに伴い、日課が変わることで不安を感じる生徒がいるかと思いましたが、いつもよりもじっくりと作業学習に取り組めたことが自信につながり、午後の時間の作業学習にも落ち着いて意欲的に取り組めている生徒がほとんどでした。当日の販売会場では、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」の元気なかけ声が飛び交い、大盛況のつくし祭となりました！

つくし祭の活動を通じて得た、ものごとに集中して取り組む力や仲間と協力して作り上げる喜び、いろいろな人とのコミュニケーションの経験が、これからの日々の生活を豊かにし、高等部や卒業後の生活の礎になっていってほしいと思います。〔中学部主事〕上見 篤史



高等部

「つくし祭、大成功！！

ありがとうございました」

つくし祭には、たくさんの皆様に御来場いただき、ありがとうございました。高等部作業製品販売会では、多くの方に作業製品を手にとっていただくことができました。「作業学習で製品を作り完成させる」ことは生徒たちにとって大きな喜びですが、販売会で「自分たちが作った製品を買っていただく」ことも生徒一人一人にとって大きな喜びであり、大変意義があることだと考えています。「作った製品について質問を受けた。」とか、「お客様から『素敵ね』と言われた。」とか、「笑顔で『ありがとう』と言ってくれた。』など、販売活動を通して得た実体験の一つ一つが、確かな自信となって生徒の中に残っています。この自信の積み重ねが、卒業後に、地域の中で周囲の人たちと自然に関わりながら生活するための力につながると思います。

高等部です。卒業後の社会生活を常にイメージしつつ、更なる教育活動の充実を図りたいと思っています。御協力をよろしくお願いします。〔高等部主事〕安藤 文雄



進路支援

進路指導部

事業所訪問 「あるば」

夏休みに先生方で見学に行った報告です！

社会福祉法人ウィンクル 就労継続支援B型事業所「あるば」

○アクセス 松戸駅西口より徒歩5分

○開所時間 9:30 ～ 16:30

○定員 現在 32名 ※今後、事業所拡張に伴い増員予定

○活動内容

☆ 受注作業 : カレンダー作り、シール貼り、タオル畳み 等

☆ 施設外作業 : 病院(千葉西病院)施設内除草作業、
花苗植え作業 等

☆ ポスティング : 近隣チラシ配り、新聞配達 等

☆ 施設内作業 : フリーマーケットや各種お祭り参加用に手工芸品作成、うどん、炊き込み御飯の
販売、資料印刷 等

☆ レクリエーション: ニか月ごとに、映画、ボウリング

☆ 年間行事 : 花見、七夕まつり、新松戸まつり、松戸まつり、フリーマーケット(4, 10月)、
クリスマス会、バス旅行(年1回)

○支援上、大切にしていること

- ・利用者を一人の成人として尊重し、個に合わせた支援を実施すること。
- ・「あるば」での生活はゴールではなく、通過点として考えて支援していること。

○在学中、家庭と学校に求めること

- ・活動を共にしながら、みんなと一緒に喜び合える人を育ててほしい。
⇒ 厳しい仕事でも、仲間と一緒になら、最後まで楽しく働ける人
- ・相手や周囲に喜びを与える行動がとれ、そのことで自分もよい気持ちになれる人を育ててほしい。
⇒ 掃除のできる人、挨拶や返事のできる人



《編集後記》

「あるば」の利用者支援の根本にあるものは、「利用者の個性を尊重し、その個性や特性を生かせる活動(作業)に取り組む」という基本姿勢で、利用者のもっている力を信じ、常に、「もう一歩先の自立を目指す支援」を心掛けているところ(事業所)だと強く感じました。

〔中学部進路指導係〕野村 憲夫

11月 行事予定					12月 行事予定					1月 行事予定				
日	曜	日課	学校行事など	保健関係	日	曜	日課	学校行事など	保健関係	日	曜	日課	学校行事など	保健関係
1	木	㊤	職員研修会 高 願書配付		1	土		走々クラブ 和太鼓クラブ活動日		1	火		元日	
2	金				2	日				2	水			
3	土		文化の日		3	月	B	職員研修会 バザー反省会		3	木			
4	日				4	火		開かれた学校づくり委 員会②		4	金			
5	月				5	水	㊤	特支校作品展～12日		5	土			
6	火				6	木		中 駅伝大会 小4 校外学習		6	日			
7	水	㊤	防災教育公開研究会	小1、4、中1、高1 心電図 9:00～	7	金		高 駅伝大会 小1 校外学習		7	月	C	三学期始業式	
8	木		小5 宿泊学習		8	土				8	火	㊤	給食開始	
9	金		小5 宿泊学習		9	日				9	水	㊤		
10	土				10	月		避難訓練、防災教育 (煙道訓練)		10	木			
11	日				11	火				11	金			
12	月				12	水	㊤			12	土			
13	火			中高 駅伝事前検 診 12:45～	13	木		中駅伝大会(予備日) (小4 予備日)		13	日			
14	水	㊤			14	金		高駅伝大会(予備日) (小1 予備日)		14	月		成人の日	
15	木	B	職員研修会		15	土		走々クラブ活動日		15	火		姉妹学級活動	
16	金		小2 校外学習		16	日				16	水	㊤		
17	土		走々クラブ 和太鼓クラブ活動日		17	月				17	木			
18	日				18	火		小 土南部小交流会		18	金		小2 校外学習 児童生徒会役員選挙	
19	月				19	水	㊤			19	土		走々クラブ 和太鼓クラブ活動日	
20	火		中 金ヶ作中交流① バザー前日準備		20	木	B	創立四十周年 記念コンサート 二学期給食最終日		20	日			
21	水	㊤	つくしバザー		21	金	C	二学期終業式		21	月		中 作業週間～25 高等部願書受付期間～31	
22	木	B	職員研修会		22	土				22	火			
23	金		勤労感謝の日		23	日		天皇誕生日		23	水	㊤		
24	土				24	月		振替休日 冬季休業～1/6(日)		24	木			
25	日				25	火				25	金			
26	月				26	水				26	土			
27	火		中 金ヶ作中交流②		27	木				27	日		同窓会:新成人を祝う会	
28	水	㊤			28	金				28	月		自由授業参観日	
29	木		小3 校外学習		29	土				29	火			
30	金		高 駅伝大会試走		30	日				30	水	㊤		
					31	月				31	木			